

科 目 名		学 年	
経営工学II B: Management Engineering IIB		5B	
教 員 名 狭間 雅義 HASAMA Masayoshi			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	必修	講義・前期
学 修 単 位		○	
授 業 概 要			
経営工学 I A, 経営工学 II Aはオペレーションズリサーチ(OR)といわれる経営問題を数理的に解決させるために不可欠な代表的な手法を習得した。5年生前期は最適化手法を用いて、経営・経済問題を解決させるやや複雑な手法を学んだ。後期はこの領域の研究分野に注目し、やや複雑な手法で解決させる方法を理解すると同時にシミュレーション方法について学ぶ。授業名は経営工学 II Bであるが、ここでは最適化理論 II として授業を行うものとする。			
到 達 目 標		評 価 方 法	
①経営問題の最適化に関する内容を把握する ②どのようなアプローチで問題解決をするのかを理解する。 ③シミュレーションをするためのモデルの構築方法を理解する		①中間試験(20%)、②期末試験(40%)③レポート(40%)によって評価する。	
学 習 ・ 教 育 目 標		(E)②	JABEE基準1(1)
		(d)-(2)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	経営工学 II B の概要	サプライチェーンマネジメント最適化, 研究の方向性
	第2	SCM最適化①	最近の研究内容についてを説明する
	第3	SCM最適化②	最適化にするための方法について説明をする
	第4	ロジスティクス	3PL, 4PLについての理論を述べる
	第5	ロットサイズ決定	数理モデルについて
	第6	スケジューリングモデル	スケジューリングに関する研究内容を紹介する
	第7	中間のまとめ	ここまでのまとめとして中間試験を行う
	第8	SCM事例解析	導入して成功をしているSCM事例解析について説明する。
	第9	シミュレーション	シミュレーションの必要性, 目的について説明する
	第10	シミュレーション例	シミュレーションモデルを紹介する
	第11	シミュレーションモデルの構築法①	経営工学手法を用いてなんらかのモデルを作成する(線形計画法, PERT)
	第12	シミュレーションモデルの構築法②	待ち行列モデル, 輸送計画モデル
	第13	シミュレーションモデル作成レポート	レポート問題について
	第14	学年末に関する内容	試験には専門用語およびシミュレーションの方法および数理的な手法に関しての解説を行う
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容		レポートを2回行う。	
関連科目		ここまで習得した経営系や情報系科目	
教科書		特に指定しない	
参考書			
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考		わからないことはどんどん遠慮なく質問してください。	